

Virtual LC

2. メールサーバー

2. メールサーバー

1. スプール容量制限

メールアカウントを持つユーザーが使用できる、メールスプール(メールを保存しておける領域)の容量を制限します。

■ スプール容量の制限



スプール制限の容量を設定するユーザーを検索します。

「ユーザー検索」に検索キーワードを入力します。検索結果の表示件数を変更する場合は、「表示件数」の値を変更します。

通常システムアカウントは表示されません。検索結果にシステムアカウントを表示する場合は、「システムアカウントも表示する」を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

ユーザーの頭文字から検索する場合は、「ユーザーの頭文字」に表示されている、頭文字の範囲をクリックします。全てのユーザーを一度に表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

ユーザー名、ディスク使用量については、項目名をクリックすることで、表示を、降順／昇順に切り替えることが出来ます。

制限容量を設定する場合は、「編集」ボタンをクリックします。

容量制限の設定画面が表示されます。



使用できる最大容量の値を「制限容量」に入力します。

容量制限をかけない場合は、「メールスプールに容量制限を掛けない」を選択します。

「OK」ボタンをクリックします。

制限容量一覧画面に戻ります。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

2. スプール容量制限一括設定

メールアドレスを持つユーザーが使用できる、メールスプール(メールを保存しておける領域)の容量制限を一括設定します。

■ スプール容量の一括制限



スプール制限の容量を設定するユーザーを検索します。

「ユーザー検索」に検索キーワードを入力します。検索結果の表示件数を変更する場合は、「表示件数」の値を変更します。通常システムアカウントは表示されません。検索結果にシステムアカウントを表示する場合は、「システムアカウントも表示する」を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

ユーザーの頭文字から検索する場合は、「ユーザーの頭文字」に表示されている、頭文字の範囲をクリックします。全てのユーザーを一度に表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

ユーザー名、ディスク使用量については、項目名をクリックすることで、表示を、降順／昇順に切り替えることが出来ます。

容量制限の設定画面が表示されます。



使用できる最大容量の値を「制限容量」に入力します。

容量制限をかけない場合は、「メールスプールに容量制限をかけない」を選択します。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

2. メールサーバー

3. エイリアス設定

メールアカウントに対して、他のメールアドレスへ転送するための設定を行います。

■ エイリアスの設定



エイリアスにつける名前を、「追加エイリアス名」に入力します。



エイリアス名の最初の文字は、アルファベットの小文字と数字、その他には、「-」と「_」が使用できます。

「エイリアス値」に転送先となる、ローカルユーザーのユーザー名、または、リモートユーザーのメールアドレスを入力します。

複数指定する場合は、「,」カンマで区切って入力します。

「追加」ボタンをクリックして、エイリアスを追加します。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を完了します。

■ エイリアスの検索

エイリアスを検索する場合は、「エイリアス検索」に検索キーワードを入力します。

検索結果の表示件数を変更する場合は、「最大表示件数」の値を変更します。

システム予約エイリアスは通常表示されません。システム予約エイリアスを表示する場合は、「システム予約エイリアスを表示する」を選択します。

「検索」ボタンをクリックして、検索を実行します。

エイリアスの頭文字から検索する場合は、「エイリアスの頭文字」に表示されている頭文字の範囲をクリックします。

登録されているエイリアスを、全て一度に表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

■ エイリアスの編集

エイリアスを編集する場合は、「編集」ボタンをクリックします。



「エイリアス値」に転送先となる、ローカルユーザーのユーザー名、または、リモートユーザーのメールアドレスを入力します。

複数指定する場合は、「,」カンマ、または、改行区切りで入力します。

「OK」ボタンをクリックします。

エイリアス一覧画面に戻ります。

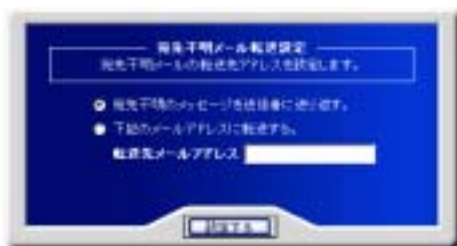
「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。

2. メールサーバー

4. 宛先不明メール転送設定

サーバーに存在しないアカウントやエイリアス宛のメールに対して、メールサーバーがどのような振る舞いをするかを設定します。

■ 宛先不明メール転送設定



宛先不明メールの転送先を設定します。

宛先不明メールを送信者に送り返す場合は「宛先不明のメッセージを送信者に送り返す。」をチェックしてください。

宛先不明メールを特定のメールアドレスに転送する場合は「下記のメールアドレスに転送する。」をチェックして、「転送先メールアドレス」に転送先メールアドレスを入力します。

「設定する」ボタンをクリックして、設定を終了します。